

報告日 令和8年1月19日
報告回次 2回目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	大船渡市			代表者名	渕上 清
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	企画政策部デジタル戦略課		連絡先電話番号
担当者役職	係長	担当者氏名	及川慎一郎		連絡先E-mail
住所	022-8501 岩手県大船渡市盛町字宇津野沢15				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	連絡先部署
担当者氏名	連絡先電話番号

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	大船渡市DXセミナー
概要	①市職員（幹部職員向け、中堅職員向け）のDX研修の開催 ②市内事業者及び市民向けDXセミナーの開催		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） EBPM（エビデンスに基づく政策立案）		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	738	令和8年1月13日	講演	実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和8年1月22日	講演（実地）	17時00分	19時00分	
				活動時間（分）	120
2-2. 派遣場所	会場名	大船渡市防災観光交流センター	最寄駅	大船渡	
	所在地	岩手県大船渡市大船渡町字茶屋前7-6	最寄駅からの交通手段	徒歩	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	庄司 昌彦
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったです等詳細に）	事業者・市民を対象としたDXセミナーを実施した。導入として、AI活用により音楽や動画生成が容易に可能になっていることなどAIの先進的なデモの実演があり、参加者にも大きな刺激となった。2040年代の人口構成、生産年齢人口の減少、単独世帯の増加など、激変する社会状況の中でデジタルトランスフォーメーションはどのように進めていくべきかを分かりやすく講義いただいた。また、一部の人による先端技術利用ではなく全体の底上げ（誰もが恩恵を受ける）が必要であるという点やAI・データ活用についても参加者にとって自分ごととして理解できるよう民間事例の紹介を交えて丁寧にお話いただいた。
アドバイザーへの要望事項	引き続きご支援をよろしくお願いしたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	21人
	属性	自治体職員		
		企業・団体	その他(学生など)	
	人数	5	16	

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	市の内部においてはDX戦略等に基づくDXの推進を加速させるとともに、地域におけるDXを進める上で、既存の手法や考え方を変革するとともにAIやデジタル技術を活用することで市民や地域、事業者などが持つ様々な地域課題の解決に取り組んでいくための土壌づくりが必要である。
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	事業者や市民を対象としたDXセミナーを開催することで、行政（職員）を含めた、市民・事業者など市に関わるすべての人が地域全体におけるDX推進の必要性を認識し、主体的に取組を進められる地域となることを目指す。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	・生成AIができるようになったこと、活用できる領域などを講義中で幅広く展開していただき、事業におけるデータ・AI活用は不可欠になりつつあることをわかりやすく説明いただいた。 ・先端技術を一部の人が利用するのではなく、多くの人が恩恵を受けるためにやり方を変える、組織のあり方や文化を変えるDXが求められることなどのほか、民間の力で地域を運営していく手法など「地元企業の持つ可能性」について具体事例を交えて示された。
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	参加者からは、今後のDXを進める取組への意欲が喚起されたこと、社会課題等の背景が理解できたことなどの感想が得られており、目的である事業者や市民におけるDX意識醸成を図ることができた。
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	事業者・市民におけるDX推進の意識醸成を図るという目的は途上であり、引き続き、地域のDXを推進するための啓発を進める必要がある。
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別途アンケート回答結果を添付します。
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい ④予算以外で、今後取組む事項がある 本事業等を活用し、引き続き事業者・市民に対してもDXの機運醸成を図る機会を確保していくたい。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	人口減少・高齢化、人手不足の状況においても、事業者が事業を発展・存続することができるとともに市民全員がデジタルの恩恵を受けられ、住み続けられるまちづくりを実現する。

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

